



ねっとわーく広報

第32号



梅雨明けの暑さがひとしおに感じるころとなりました。皆さまお健やかにお過ごしでしょうか。昨年はスーパーエルニーニョ現象(冷夏→暖冬)について触れておりましたが、どうやら今年はラニーニャ現象に気を配る必要があるようです。ラニーニャが発生した場合、夏はより暑く、冬はより寒いといった異常な気温となり、水稲であれば水温上昇、大豆であれば登熟期後半の青立ち助長等、他作物への影響も懸念されます。

毎年のように異常気象に見舞われる昨今、事前の情報収集が重要だと実感できるようになりました。皆様の知恵もお借りして今後も励んで参ります。

ネットワーク大津(株) 4、5、6月

定例取締役会：主な内容について

4/1 : 第1号議案 稲わら代及びペレット堆肥散布料金の改定について

GPペレットの価格が令和5年4月価格改定により10aあたり660円高くなった為、散布価格が7,600円となり、現在の料金体系に不備が生じたので価格改定を行いました。

※改定前

稲わら買取り価格	7,000円(税込み)
ペレット堆肥散布価格	7,000円(税込み)

※改定後

稲わら買取り価格	8,000円(税込み)
ペレット堆肥散布価格	8,000円(税込み)

5/1 : 報告事項 令和6年産 水稲育苗料金について

JA 菊池の水稲種子代が確定した為、令和6年産水稲育苗料金が確定したと報告しました。

通常苗	申込書	精算時
	561円(税込)	→ 636円(税込)
自家用苗	申込書	精算時
	760円(税込)	→ 830円(税込)
苗箱まかせ	630円(税込)	

6/5 : 第1号議案 収入保険(NOSAI熊本)の加入について

収入保険は、今の保険方式と内容的にはあまり変わらず、掛け捨ての部分が少なくなる為、収入保険への加入が望ましい状況です。事業年度の1ヵ月前に加入しなければならない為、加入することに対して協議を行いました。※契約は1年更新なので1年で元に戻せます。

協議の結果、出席取締役全員賛成で承認、可決されました。

令和6年産麦

令和6年産の麦は収穫作業時の状況から見ると収量が低いように感じます。前号で触れた通り、今回の麦は年末強い寒波に見舞われ、年明けからは暖冬の影響を強く受けておりました。その為、平常時より生育の速度が速く、粒の充実不足が起こったのではないかとの推測も挙がっております。また、今回の麦では急に暖かくなった影響からか根や葉の状態が早くから悪くなり、網斑病の発生も確認しました。湿害等も踏まえ生育不良に更なる拍車をかけたようです。収穫時には折れてしまった茎がコンバインの詰まり等に繋がり、作業効率の低下やオペレーターの疲労となりました。例年より、大豆前の圃場で麦が発芽している様子はコンバインの収穫時に風選別で飛ばされた充実不足のクズ粒が多いことを物語っているようです。振興局では今回の事態について現在調査・考察中であり、当社においても情報の共有を密に行い状況の把握に努めて参ります。



小麦湿害の様子※周囲より早く枯れ粒は充実不足でフカフカしている



大麦網斑病の様子

3月末時点での在庫数	
繁殖	90,834Kg
肥育	245,459Kg
搾乳	129,268Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	93,775 kg	63,003 kg	271,506 kg	208,931 kg
5月	99,205 kg	85,490 kg	260,382 kg	230,055 kg
6月	96,526 kg	74,015 kg	330,481 kg	223,842 kg
合計	289,506 kg	222,508 kg	862,369 kg	662,828 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	94,921 kg	93,271 kg	460,202 kg	365,205 kg
5月	132,529 kg	94,592 kg	492,116 kg	410,137 kg
6月	91,507 kg	91,683 kg	518,514 kg	389,540 kg
合計	318,957 kg	279,546 kg	1,470,832 kg	1,164,882 kg



TMR事業報告

現在、TMRの出荷において肥育が伸びてきており取引先の近辺からも評判が良いという触れ込みから取引量も増えてきております。令和6年度に関しましては、そういった傾向から製造の内容も肥育を中心に計画し作業に当たっております。現状毎月の出荷量が四百ト弱であることから、最終的には年間五千ト弱の出荷量を見据え、繁殖・搾乳も踏まえ安定した供給が行えるよう、在庫や製品置き場の状況を見て製造の調整を行って参ります。

水稲育苗



良質な根張りの証拠であるロール苗

ただ、今回育苗期間中に夜温が低かったことも踏まえると、被覆材による試みは今後も生育状況の確認を行い、様子を見る必要があるように感じます。尚、今回も慣行苗の様に全数根張りが良かったわけではなく、少量ではありますが根張りが不十分なことでポロポロと崩れてしまう苗もありました。製造工程において苗箱まかせが入りすぎている面や、育苗期間中の環境(場所により日当たり等が悪い)が関係していると思われるので、今後も改善に取り組んで参ります。



令和6年産の水稲育苗にて遂に苗箱まかせ苗の良質な条件出しに成功しました。今回の苗箱まかせ苗では苗箱まかせの投入量を1.2kg程度から1kg以下に減らし、床土の量を増やす調整を行いました。これにより根張りの質が良くなり、作業時にロール形態での取り扱いが可能となる程の物となりました。また、育苗工程においても省力化にも繋がるよう被覆材を使用しないという試みも行い、昨年行ったバリカン処理を行わなくても良い程度には徒長を抑えることが出来ております。

自動代かき

6月17日に大窪と町の前にある本社小作地にてロボットトラクター(実演機)による現地検討会と試験を行いました。内容は自動運転トラクターでの代かき作業による作業の効率化及び、精度の高い代かき作業による現状の水田減水深確保が主な目的となります。代かき経験者の方々には伝わるとは思いますが、代かきの作業跡というのは水の状況次第にはなりますが作業中大変分かりづらく、仕上げの際に同じ作業箇所を何度も通ってしまうことがあります。今回はGPSによる圃場マップングにより、自機の位置情報からトラクター自身が代掻きの作業ラインを割り出し、無駄なく仕上げ作業を行いました。減水深に関しては、大窪の圃場において水の引きが通常よりとても早いようで、日々の水回りを行っている松岡課長も、「夕方に水を止めた際に、朝方には干上がっている。」と同様の所感を抱いているようです。圃場の特質なのか、代かきの作業方法が原因なのかは現状答えを出せませんが、今後も振興局との減水深調査を踏まえ考察を交わしていきたいと考えております。



無人での代かき作業を行うMR1000(実演機)

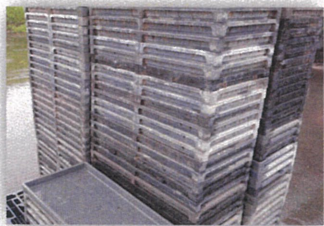
田植え体験

6月25日に田植え体験を開催しました。大津南小・大津幼稚園・いちご保育園・緑ヶ丘保育園・みんなのおうちの5団体が参加し、小雨で田植え日和の中、一生懸命植え付けました。田植えが終わると、毎年恒例の泥んこ遊び♪土の感触を楽しんだり、豪快に走り回ったり、全身真っ黒で楽しむ子供達でした。

※JA菊池様より、みかんちゃんの提供ありがとうございました。



WARNING!WARNING!WARNING!



6/18、本社機械倉庫に突如として本社が使用していない育苗箱が持ち込まれました。心当たりのある方はご連絡ください。7月中に廃棄予定です

WARNING!WARNING!WARNING!

今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会



- 7/5 集落運営費の支払い
- 7/月上旬 令和6年作付麦の作業委託申込書の配布
- 7/月上旬 令和6年あぜぬり申込書
- 7/月上旬 令和6年度農作業受委託契約書の取りまとめ
- 7/中旬 稲わら契約書の配布
- 7/下旬 第1回水稻一斉防除
- 8/月上旬 下期監査

- 8/中旬 第1回大豆防除
- 8/下旬 第2回水稻一斉防除
- 9/17 第12回定時株主総会(予定)
- 9/下旬 SGS刈取り・製造作業開始



【お問い合わせ先】 ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章